

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

北海道白老町に 2020 OPEN!

令和 2 年 3 月 3 1 日

令和 2 年度北海道開発事業費 (留萌開発建設部実施分) の概要について

令和 2 年度北海道開発事業費（留萌開発建設部実施分）について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部

全 体	広報官	畠山 浩和	(電話 0164-42-2393)
治水関係	治水課長	齊藤 仁史	(電話 0164-43-5515)
道路関係	道路計画課長	笠松 周悟	(電話 0164-42-4526)
港湾・水産関係	築港課長	佐々木 洋介	(電話 0164-42-4816)
農業関係	農業開発課長	小野寺 晃良	(電話 0164-42-2351)

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式ツイッターTwitter アカUNT @mlit_hkd_rm



令和2年度

北海道開発事業費の概要

令和2年3月

留 萌 開 発 建 設 部

令和 2 年度 留萌開発建設部事業費総括表

(事業費)

(単位：百万円)

事 項	予 算 額	備 考
治 水	2, 643	
道 路	8, 410	
港 湾 整 備	1, 080	
都 市 水 環 境 整 備	116	
農 業 農 村 整 備	1, 699	
水 産 基 盤 整 備	906	
合 計	14, 854	

注) 1. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。
 2. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和2年度事業概要

留 萌 開 発 建 設 部

【治水事業】

天塩川下流及び留萌川の河川整備

【道路事業】

国道40号 天塩防災、トンネル修繕ほか

国道231号 岩尾視距改良、旭町交差点改良、舗装・排水施設修繕、トンネル修繕、橋梁修繕ほか

国道232号 小平防災【令和2年度新規事業化】、高砂橋架替、羽幌南大通交差点改良【令和2年度新規事業化】、防災対策、防雪対策、橋梁修繕ほか

国道233号 橋梁修繕ほか

国道239号 霧立防災、防災対策、舗装・排水施設修繕、橋梁修繕ほか

E62 深川・留萌自動車道 ワイヤロープ設置、橋梁修繕ほか

【港湾整備事業】

重要港湾 留萌港

地方港湾 増毛港、羽幌港、天塩港

【都市水環境整備事業】

天塩川下流の自然再生事業及び水辺整備

【農業農村整備事業】

実施地区 国営総合農地防災事業

産土地区

実施地区 国営施設応急対策事業

苫前地区

国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業

【水産基盤整備事業】

第3種 苫前地区

第4種 遠別地区

北海道第3種及び第4種漁港地区

治 水 事 業

近年頻発する水害・土砂災害を踏まえ、第8期北海道総合開発計画の主要施策に基づき、強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成に資するためのインフラ整備や老朽化対策の推進を図り、農林水産業や観光等を担う地域である「生産空間」の保持・形成に資する治水事業を実施します。

また、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震等最近の災害に鑑み実施された総点検結果を踏まえ、甚大な人命被害等が生じるおそれのある河川の堤防の強化対策、樹木伐採や掘削等の対策を実施するとともに、迅速な避難につながる河川情報の提供など、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づくハード・ソフト対策を推進します。

【河川改修】

天塩川下流

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」や「水防災意識再構築ビジョン」に基づき、河道掘削のほか、堤防整備、堤防天端保護等を実施します。



留萌川

昭和63年洪水等を鑑みた下流市街地の再度被害防止対策として、河口部改修事業を継続します。

また、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」や「水防災意識再構築ビジョン」に基づき、堤防裏法尻補強等を実施します。



【河川維持修繕】

天塩川下流・留萌川

樋門、排水機場等の河川管理施設が良好な機能を維持できるよう点検整備及び修繕を実施します。

また、堤防機能点検のため除草等を実施し、樹木の繁茂により河川管理施設に影響がある箇所については、伐採を実施します。

【堰堤維持】

留萌ダム

ダム管理に必要な管理施設の点検整備や流木処理、管理用発電設備の安全で効率的な運用を行い、安定したダム管理を行います。

また、利水者と連携し洪水調節機能強化を進めます。



道 路 事 業

<基本方針>

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）に掲げられた「世界の北海道」を目指し、世界に目を向けた戦略的産業を振興するとともに、これを担う「生産空間」の維持・発展を図るべく、「農林水産業・食関連産業の振興」、「世界水準の観光地の形成」及び「強靱で持続可能な国土の形成」を推進するための社会資本整備等を重点事項として実施します。

このうち、強靱で持続可能な国土の形成を図る、道路の防災・減災対策、老朽化対策、交通安全対策の推進や冬期交通の安全確保に努め、安全・安心な社会基盤の形成を図ります。

また、「生産空間」の生活を支える「道の駅」の活用・充実やドライブ観光を推進する「シーニックバイウェイ北海道」等の取組を推進します。

<事業内容>

1. 食料供給基地としての持続的発展及び世界水準の観光地の形成を目指す地域社会の形成

（1）広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

E62 深川・留萌自動車道は、幌糠留萌道路（留萌大和田IC～留萌IC間）が令和2年3月28日に開通したことで、高規格幹線道路としては**道内初の全線開通**となりました。

これにより、水産品の安定供給支援や、高次医療施設までの搬送時間短縮と安定した救急搬送支援等の整備効果が期待されます。



E62 深川・留萌自動車道 幌糠留萌道路
（令和2年3月28日開通）

（2）「生産空間」の生活を支える「道の駅」の活用・充実

北海道の地方部に広域に分散している「生産空間」を維持するために、道の駅を地方創生や観光を加速する拠点として、インバウンド観光の受入体制、交通結節機能や防災機能の強化、子育て応援施設や大学との連携など地域拠点機能の強化を推進し、地域課題の解決や将来の定住環境の構築に向けた取組を進めます。

また、令和2年3月13日に登録された道の駅「るもい」は深川・留萌自動車道の留萌ICにも近接する立地条件から、留萌管内の地域拠点としての機能や他の道の駅との連携拠点としての機能を担えるよう、関係機関と連携しながら検討を推進します。



道の駅「るもい」（令和2年度オープン予定）
子育て応援施設（妊婦用屋根付き駐車スペース）
整備状況

（3）「シーニックバイウェイ北海道」の推進

ドライブ観光を推進する「シーニックバイウェイ北海道」において、地域の魅力ある道路景観が観光目的となるよう、秀逸な道について、ドライブ観光客への情報発信・誘導、景観の重点的保全を行うなど、地域と協働した取組を推進します。

留萌開発建設部は、管内の「**萌える天北オロロンルート**」の活動を支援しています。



<シーニックバイウェイ「秀逸な道」>
国道232号 苫前町上平 L=6km
（風を感じて走る道 日本海オロロンライン）

※「秀逸な道」とは、「世界水準」の観光地の形成に向け、地域と道路管理者との協働で、地域の魅力ある道路景観が観光目的となるよう、ドライブ観光客への情報発信・誘導・景観の重点的保全を行う取組。

(4) 北海道におけるサイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向けた「北海道サイクルツーリズム推進方針」を踏まえ、令和2年度においては、地域や道路管理者等が連携し、安全で快適な自転車走行環境の創出、サイクリストの受入環境の改善及び情報発信等の取組を実施します。



留萌管内サイクリング状況

2. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 道路の防災・減災対策

地震による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、緊急輸送道路上の橋梁の架け替え、越波対策、道路斜面等の防災対策を推進します。

また、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」については、令和2年度が最終年度となることから、対策が期間内に完了するよう努めるとともに防災・減災、国土強靱化に向けた取組を引き続き推進します。

国道40号 天塩防災



整備中の天塩防災（天塩大橋）

国道232号 小平防災
【令和2年度新規事業化】
高砂橋架替、防災対策



3か年緊急対策（苫前町力屋）

国道239号 霧立防災、防災対策

(2) 冬期交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細かな地域支援

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象状況や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除排雪作業を実施します。また、関係機関で組織されている道路防災連絡協議会で相互の連携強化を図るとともに、地方公共団体への支援のため除雪機械の貸付やリエゾン^注の派遣による災害関連情報の共有等の支援体制構築について継続的に実施します。

（注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員）



除雪作業

(3) 道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

国道40号	}	橋梁・トンネル修繕ほか
国道231号		
国道232号		
国道233号		
国道239号		



橋梁点検（ルルモッペ大橋）



橋梁修繕（臼谷橋）

(4) 交通安全対策の推進

事故データ、地域の声やビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間等を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプランを推進するとともに、高速道路の暫定2車線区間については、正面衝突対策としてワイヤロープの設置を計画的に推進します。

※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組。

国道231号 岩尾視距改良
旭町交差点改良

国道232号 羽幌南大通交差点改良
【令和2年度新規事業化】

E62 深川・留萌自動車道
ワイヤロープの設置



交差点改良（栄町交差点改良）



ワイヤロープの設置状況

港 湾 整 備 事 業

【港湾改修事業】

重要港湾 留萌港

[三泊地区]

施設老朽化への対策を行い、船舶の安全な航行を確保するため、西防波堤改良の整備を進めます。



地方港湾 増毛港

[本港地区]

小型船の輻輳や狭隘を解消し、荷役の効率化を図るため、水深3.5m船溜物揚場の整備を進めます。



地方港湾 羽幌港

[本港地区]

小型船の輻輳や狭隘を解消し、荷役の効率化を図るため、水深3.5m物揚場の整備を進めます。



地方港湾 天塩港

[本港地区]

航路埋没への対策を行い、船舶の安全な航行及び操船を確保するため、水深6m航路、西外防波堤の整備を進めます。



都市水環境整備事業

【総合水系環境整備事業】

天塩川下流では、自然再生事業として、恵み豊かな汽水環境の再生のための河岸整備等を行います。



天塩川下流では、天塩町内において「天塩かわまちづくり」計画と連携し、人が輝く地域社会形成のため、まちづくりと一体となった水辺整備を推進します。



北海総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、川に関する情報を効果的に発信するとともに地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたび北海道」プロジェクトを推進しています。



農業農村整備事業

留萌管内の農業は、地域特性を活かし、酪農、畑作及び水田と多種多様な農業が営まれ、生産の安定を目指した事業を行っています。

実施地区

【国営総合農地防災事業】

産土地区（受益面積 2,289ha）

泥炭土に起因した地盤沈下により機能低下が生じた農業用排水路及び農用地の機能を回復するため、国営総合農地防災事業「産土地区」の整備を進めます。
（排水路12条、暗渠排水等2,289ha）



産土地区の工事施工状況

【国営施設応急対策事業】

苫前地区（受益面積 1,640ha）

ダム操作管理設備の機能を保全するため、国営施設応急対策事業「苫前地区」の事業を推進します。
（ダム(改修) 1か所)



苫前地区(苫前ダム管理棟内)

【国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業】

防災・減災、国土強靱化のための防災情報ネットワーク設備の整備、保守運用を行います。



民安ダム

水産基盤整備事業

【特定漁港漁場整備事業】

留萌管内の第3種及び第4種漁港は、日本海有数の好漁場である武蔵堆の近傍に位置し、刺網やエビ籠などの地域沿岸漁業、周辺海域で操業する道内外からのイカ釣り漁業の生産・流通拠点として重要な役割を担っています。また、道内はもとより国内へのホタテ種苗の供給や韓国等で高い需要のある活ホタテガイ輸出など、我が国の水産業の競争力強化に貢献しています。

このことを踏まえ、2020（令和2）年度は「水産業の競争力強化と輸出促進に向けた生産・流通機能強化対策」及び「大規模自然災害に備えた漁業地域の強靱化対策」を重点的に推進します。

苫前地区（第3種）

越波及び飛砂を防止するための護岸、漁港内への漂砂の流入を防止するための防砂堤、漁船の大型化に対応した船揚場の整備を推進します。

- ・ 外郭施設：東外防砂堤、西外護岸（改良）
- ・ 係留施設：船揚場（改良）



遠別地区（第4種）

漁船の操船等に必要な水深を確保するための泊地、漁船上架作業の安全性を向上するための防波堤、漁業活動の効率化を図るための駐車場の整備を推進します。

- ・ 外郭施設：南防波堤（改良）
- ・ 水域施設：水深3.5m泊地
- ・ 輸送施設：駐車場（改良）



北海道第3種及び第4種漁港地区

漁港施設の長寿命化を図るため、苫前漁港及び遠別漁港において防波堤や岸壁の補修を行います。

苫前漁港

- ・ 外郭施設：東防波堤（補修）
- ・ 係留施設：水深4.0m岸壁（補修）

遠別漁港

- ・ 外郭施設：新北防波堤（補修）